

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人千葉学園
施設名	しらゆりナーサリールーム
報告者（役職）	金子 喜久枝（園長）
住所・連絡先	埼玉県三郷市中央2-29-17
	☎ 0048-949-6568
	E-mail info2@misato-shirayuri.com

○タイトル（保育計画）

保育園の《オアシス》

○主な助成備品

リトルプール、スライドテントひざしカット、専用メッシュ横幕、水鉄砲、ボール

1. 保育計画策定の目的

保育士の子どもを預かる事業所内保育園として開園した「ナーサリールーム」の子どもたちが、南向き園庭の緑のゴムマットが引き詰められた園庭で、プール遊びを楽しみ、プールの季節以外でもボールプールとして活用していき、全身運動を行いたい。

2. 具体的な実施内容

年間を通じてプールを活用して、遊びの広がりを楽しむとともに、保育士と遊びのアイデア、可能性を引き出す。

- ・梅雨時期では、室内遊びを展開させて、プールの中を家に見立て『ままごと遊び』を楽しむ。
- ・秋には屋外では枯葉を、冬の降雪時では雪を入れたりなど、季節ごとに遊びを変える。また、季節にとらわれず、屋内にプールを持ち込み、新聞紙プールやボールプールなど様々なプールを作り、楽しみたいと思う。
- ・夏は水を張り、水の不思議さ、水遊びの楽しさを味わいながら、暑い夏をすこやかに過ごす。

0歳児・・・水に慣れ、水の感触を味わう

1歳児・・・水に親しみ、水遊びを楽しむ

2歳児・・・水遊びのおもちゃを使い、水遊びを楽しむ

3. その成果と評価

《夏の水プール》

- ・暑い夏を心地よく過ごす。又、水着への着替えを通じて、身体の動きを感じる。
- ・自分で着替えようとする意思が芽生える。
- ・水遊びを通じて身体をたくさん動かす。
- ・水遊びのおもちゃを使うことで、手指の発達につながる。



《その他のプール遊び》

- ・ままごと遊びを通じて、友だちと関わることを楽しむ。
- ・枯葉や新聞紙、ボールなどの「摘む、掴む」遊びや集める遊びで手触り感触を味わい手指の発達につなげる。



4. 今後の課題と展望

年間を通してプールを活用し、水遊び、ボールプール、または遊びの展開として「ままごと遊び」など、保育士のアイデアで保育が展開されることで、子どもの「想像力 思考力・コミュニケーション能力が伸ばされてきた。

当初からの計画以上の成果が見られた。

今後の課題としては、折りたためないプールのために、収納場所による問題(屋外保管では劣化のため、耐久性の問題)があり、買え替え時期の問題が考えられる。

以上